

つながってまちづくり・人づくり あなたも地域活動に参加しませんか

区内では、町会・自治会、ボランティア団体、サークル、NPOなど、様々な団体・グループが積極的に地域活動を行っています。

2・3面では、これらの中から5つのグループの活動内容など、メンバーの声を紹介します。

皆さんも自分にできる地域活動を見つけて、「やさしいまち」、「元気なまち」を一緒に創っていきましょう。

■すみだ地域応援サイト「いっしょにネット」

区では、地域の皆さんの活動を多くの方にお知らせすることで、「いっしょに」活動したいという仲間の輪が広がることを願って、「いっしょにネット」というホームページを開設しています。

現在、「いっしょにネット」には、区内で活動する約230の団体が登録しており、随時、登録申請を受け付けています。登録には一定の要件がありますので、詳しくは、「いっしょにネット」のホームページをご覧ください。また、この登録団体の情報をご紹介します小冊子「まちingすみだ！（マッチングすみだ）」を主な区施設で配布しています。ぜひ、ご覧ください。

【問合せ】区民活動推進課区民活動推進担当△5608-3661



ホームページ「いっしょにネット」

小冊子「まちingすみだ！（マッチングすみだ）」

○地域ゆかりの“つり鐘”で、まちおこし

昔、あるお寺が引越す際、つり鐘を運んでいた舟が隅田川の淵に沈んでしまったことから、その周辺を「鐘ヶ淵」と呼ぶようになったという話が伝えられています。地名の由来にもなったこの“つり鐘”を活用し、鐘ヶ淵周辺を明るく活気のあるまちにしようと、昨年、まちの有志で結成されたのが「隅田つり鐘会」です。中心メンバーは20人ほどですが、賛助会員を含めると約50人にもなります。

月1回、駅周辺の清掃を行ったり、商店の店先などにプランターを置き、つり鐘、水仙など、四季折々の草花をメンバーで育てたり、つり鐘の形をした陶器のモニュメントをまちの随所に設置して、夜、明かりをともしたりといったような活動に取り組み始めています。

【問合せ】隅田つり鐘会 天霧智博△3614-0589

■団体を立ち上げた方にお聴きしました！

永瀬とみ子さん（墨田四丁目在住）

●どんなまちにしていきたいですか？

鐘ヶ淵のまちに活気を取り戻し、荒川土手まで、のどかな花と緑があふれる癒しのまちにしたい



区の「緑と花のまちづくり推進地域制度」を活用して、「緑と花のサポーター」さんたちと一緒に、ミニひまわりとマリーゴールドを21鉢植えました（後列一番右が永瀬さん）

○まちの“いいこと”を映像で伝える！

歴史、伝統文化、ものづくり、商店街、下町人情、そしてスカイツリー。すみだの魅力（いいこと）を挙げ出したら切りがありません。

「すみだいいことハンター隊」は、すみだのまちで見つけた“いいこと”を映像化し、インターネットを通して発信しています。墨田区観光協会内の墨田フィルムコミッション設立準備室が主催する

「まち映像プロデューサー講座」の卒業生が結成したハンター隊では、中小企業の若手経営者や主婦など、約30人が活動中です。「まち映像プロデューサー講座」（全6回程度）は年1、2回開催されており、現在、3期生までが卒業しています。

【問合せ】墨田フィルムコミッション設立準備室（墨田区観光協会内）△5608-6951



ハンター隊結成のきっかけとなった、「まち映像プロデューサー講座」の修了式（写真は今年卒業したばかりの3期生）

メンバーによる作品の一つが、日本財団主催の「日本ドキュメンタリー動画祭2010」で優秀賞を受賞！

東日本大震災を受け、メンバーの一部が参加する「配財プロジェクト」では、仲間呼びかけで、2日間で500人分の「ヒップウォーマー」を作製し、被災地へ送り届けました



から1年でここまでたどり着いたのはすごいことだと思います。一人の力ではできませんからね。



陶器の「つり鐘」に明かりを入れて、まちを照らします



「店先が明るくなっていいわね」と、プランターの設置に協力してくれたお店の方も大喜び

すみだいいことハンター隊

■ハンター隊の皆さんにお聴きしました！



斉藤靖之さん 小高 集さん 盛本純子さん

●なぜ、「いいこと」を見つけるのですか？

“いいこと”に注目するようになると、自分も、周りの人も、まちも活性化していくんです。“感覚を変える”、“自分を信じる”ということが重要なんだと思います。人のために自分がやりたいと思うことをみんなやっているのですが、巡り巡って自分のためにもなるんです。“いいこと”を営め合うことで、次の活動の意欲にもつながりますね。

●ハンター隊が今後めざすものは？

例えば、すみだの多種多様なものづくりの映像などを子どもたちに見てもらえば、将来やりたい仕事の選択肢になると思うんです。子どもたちが夢をもてるまちにしたいですね。すみだにはその可能性があふれていますから、今後もどんどん、“いいこと”をハントしていきたいです。

○心に染み入る昭和歌謡を一緒に♪

おじじバンド

元気高齢者施設「いきいきプラザ」で月1、2回開催される「昭和歌謡の会」。バンドの皆さんの演奏や歌を静かに聴くかと思いきや、最初から最後まで、お客さん全員が歌詞カードを持って一緒に大合唱していました。毎回、募集した途端に満員御礼という大好評ぶりです。

「おじじバンド」のメンバーは、実年齢より遥かに若く見える元気な6人。いきいきプラザの施設長が専属司会として加わり、演奏の合間には巧みな話術で会場を笑いの渦に包み込んでいきます。演奏する曲目は、石原 裕次郎、美空 ひばりなどが歌った昭和のヒット曲や、誰もが知っている童謡で、30曲以上のレパートリーがあるそうです。

【問合せ】おじじバンド 安住 宏△080-2007-3527

■おじじバンドの皆さんにお聴きしました！

●どんなところで演奏されているのですか？

いきいきプラザや、老人ホームでの訪問演奏以

外にも、最近ではあちこちのイベントに呼ばれるようになりました。昨年5月には、3つのバンド合同でコンサートをやったのですが、曳舟文化センターが満席になりました。活動の場が増えると、週1回の練習にも力が入りますよ。



笑いあり、涙ありの、癒しの時間



先月開かれた「食育フェスティバル」でのメンバーの勇姿

●この活動の魅力はどんなところですか？

癒しに行ったつもりが、お客さんが一緒に歌ってくれたり、昔を思い出して涙を流したりしているのを目にすると、逆に癒されます。みんなで声を出して歌うことは、リハビリや認知症予防にもつながるそうです。音楽活動は年齢を重ねても楽しめるし、自分の介護予防にもなっていますね。体力の続く限り、楽しく活動していきたいです。



座っているのはバンドマスターの長尾さん、立っているのは左から、ギターの丸山さん、司会の高浜さん、ボーカルの北山さん、ギターの秋山さん、ベースの安住さん

○子どもたちの笑顔が元気の源！

「おもちゃサロン」ボランティア

墨田区社会福祉協議会の「おもちゃサロン」は、障害のあるお子さんも、ないお子さんも一緒に、おもちゃで気軽に遊べる場、子育て中のお母さんやお父さんの情報交換・相談の場として、月2回開催しています。

サロンは、ボランティアの皆さんのご協力をいただいで運営されており、ボランティアは、随時、募集しています。



また、グループ・団体へのおもちゃの貸出しも行っていきます。

詳しくは、お問い合わせください。

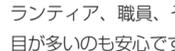
【開催日・会場】▶毎月第2金曜日＝曳舟集会所（東向島2-17-14）▶毎月第4水曜日＝みどりコミュニティセンター（緑3-7-3）【開催時間】午前10時～午後3時半 *曳舟集会所の午前中は、障害のあるお子さんとその保護者が対象【問合せ】墨田区社会福祉協議会△3614-3900

■ボランティアの方にお聴きしました！

山本文子さん（東向島四丁目在住）

●おもちゃサロンの魅力はどんなところですか？

何といっても、このおもちゃの数と広々とした空間、好きなおもちゃで自由に遊べる雰囲気は、ほかにはない魅力だと思います。ボランティア、職員、そして保護者の方と、大人の目が多いのも安心ですね。



●このボランティア活動に興味がある方にメッセージをお願いします

多くの親子に出会うことができ、子どもたちの笑顔から元気をもらえる活動です。ボランティアをする側と受ける側が“一緒に楽しむ（場の共有と心の共感）”という姿勢で活動しています。現在、月2回だけの開催なので、たくさんのおもちゃがあまり使われずにもったいないのですが、ボランティアが増えれば、開催日や会場が増えるかもしれません。興味を持ったなら、ためらわずに、ぜひ、一緒にやってみてほしいですね。



サロンには、ボールプールなどの大きなおもちゃもいっぱい！

ボランティアさんによる大きな絵本の読み聞かせに引き込まれます

○歌詞に込められた思いを心で伝える

手話ダンスサークル・はあ～との木

「手話ダンス」は、曲に合わせてステップを踏みながら、歌詞の内容を手話と体の動きで表現するダンスです。「手話ダンスサークル・はあ～との木」では、カセットデッキから流れてくる歌に合わせて、和気あいあいと手話ダンスを楽しんでいます。

聴覚障害者である講師のもと、15人ほどのメンバーが、年に数回ある発表会に向け、週1回練習しています。

【問合せ】手話ダンスサークル・はあ～との木 石川久子△3341-6466



皆さんのいきいきとした表情に思わず見とれてしまいます

■講師の方にお聴きしました！

滝澤康子さん（押上三丁目在住）

●手話ダンスを通して伝えたいことは？

より多くの方に、「手話」に興味を持ってもらうため、私たちは歌を通して手話ダンスに取り組んでいます。手話ダンスは、手話と歌詞を合わせて理解できるので、分かりやすいと思いますよ。今は聴覚障害者のメンバーが3人だけなので、もっと増えていくといいですね。

●教えてうれしいこと、やりがいは？

メンバーの誰もが、「手話って楽しい」と言ってくれるのは、とてもうれしいですね。踊りの上手・下手は関係なく、身振り・手振り・表情で、歌詞に込められた思いをいかに表現できるかというこ

とを大切に指導しています。私たちの手話ダンスを見て、手話講習会に申し込んだという方もいらっしゃって、ありがたいことです。

●このサークルの魅力はどんなところですか？

健聴者（聴覚に障害がない人）と聴覚障害者が一緒に仲良く活動していることが、このサークルの良いところですね。練習後のティータイムでも話が尽きず、時間を忘れるほど楽しいときを過ごしていますよ。



「アイ・ラブ・ユー」という手話で、ハイポーズ！

△=電話 ☎=ファクス ✉=Eメール 🌐=ホームページアドレス